

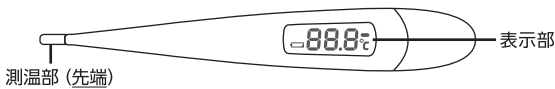
# テルモ電子体温計C217

## \*【形状・構造及び原理等】

### <構造図>

#### ●本体

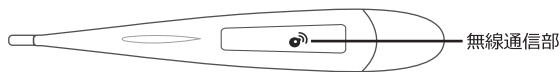
#### \*（正面）



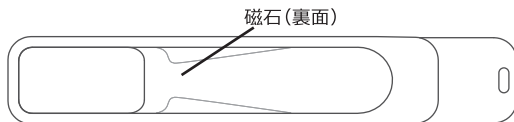
#### \* 体に接触する部分の原材料

- ・測温部（先端）：ステンレス鋼
- ・筐体：ABS樹脂

#### （背面）



#### ●収納ケース（単品販売もある）



#### ●表示部 ※説明のため、全点灯で表示

- ・初期動作確認機能（告知機能）  
電源が入った時に所定の表示をし、検温可能を告知する。
- ・エラー表示機能（告知機能）  
検温不良時、ブザーが鳴動し、表示部に「E」を表示する。
- ・使用温度範囲外表示機能（告知機能）  
使用周囲温度が、使用条件の範囲外の場合は、表示部に「Hi」又は「Lo」のマークを表示する。
- ・動作不能告知表示機能（告知機能）  
体温計が動作異常を検知した場合は、「EE」のマークを表示する。
- ・無線通信機能（外部出力機能）  
通信が完了すると、表示部に「End」を表示する。  
通信エラー発生時、ブザーが鳴動し、表示部に「E-C」を表示する。




外観寸法：長さ129mm×幅17.6mm×厚さ12.6mm

質量：約14.0g（電池含む）

#### 【機器の分類】

電撃に対する保護の形式による分類：内部電源機器

電撃に対する保護の程度による装着部の分類：BF形装着部 

水の浸入に対する保護：IPX7

#### 【電氣的定格】

電源：酸化銀電池（SR936）2個（交換不可）

電圧：DC3.1V 消費電力：約1.2mW

#### <原理>

本品は、サーミスタの抵抗変化を利用して温度を検出し、検温開始から約4分30秒までは予測値、それ以降は実測値の最高値をデジタルで表示する。検温中は、平均約30秒（おおよそ25秒～40秒）で予測が成立したことを知らせるブザーが鳴り、検温をそのまま続け

ると、検温開始から約10分後に実測検温終了のブザーが鳴る。

#### 【仕様に係る事項】

最大許容誤差（温度指示特性）：±0.1℃以内（標準温度計に対して）

測温範囲：32.0～42.0℃

使用条件：周囲温度 10～40℃

相対湿度 30～85%RH（ただし、結露なきこと）

周囲気圧 700～1060hPa

#### 【使用目的又は効果】

##### <使用目的>

測温部を部位に接触させて、腋窩の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示すること。

#### 【使用方法等】

初めて使用するときにはNFCリーダー/ライターを中心に本体背面をかざして（タッチして）、日付と時刻の設定を行う。（日付と時刻は体温計表示部には表示されません。）

##### 【測定方法】

1. 体温計を収納ケースから取り出す（電源が入る）。
2. 体温計の先端（測温部）をななめ下から30° くらいの角度でワキ下中央に押し上げるようにあてて、ワキをしっかりとしめる。
3. 検温終了後、体温計を収納ケースに入れる（電源が切れる）。  
<使用方法等に関連する使用上の注意>
  1. 子供だけで使わせないこと。
  2. 引火性のある環境では使用しないこと。
  3. 以下の項目は予測/実測精度に影響するため、注意すること。
    - (1) 飲食後、運動後、入浴後、外出から帰宅後はすぐに検温せず、30分ほど待ってから測ること。
    - (2) ワキ下に汗をかいている場合は、タオル等で汗を拭き取ること。
    - (3) 検温中は、体を動かしたり、体温計を動かしたりしないこと。
    - (4) ワキ下に強く密着させて測定すること。
    - (5) くり返し検温するときは、少し時間をおくなど体温計の先端（測温部）を冷ましてから検温すること。
  4. 強い静電気や電磁波、磁石等に近づけないこと。携帯形RF通信機器（アンテナケーブル及び外部アンテナなどの周辺機器を含む）を、体温計のあらゆる部分から30cmよりも近づけないこと。
  5. 本品は、衝撃、振動、塵埃、噴霧、腐食性ガス等の発生する場所で使用しないこと。
  6. 分解、修理、改造は行わないこと。
  7. 体温計を廃棄する際は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）に従って適切に廃棄すること。

#### 【使用上の注意】

##### <重要な基本的注意>

1. 本品の表示部を強く押さえたり、ボールペンやツメ等、硬いもの、先の尖ったものでつついたりしないこと。
2. データ転送時以外は、本品をNFCリーダー/ライターに近づけないこと。[表示動作に時間がかかったり、意図しないデータ通信を行う可能性がある。]
3. データの転送完了後は、本品をNFCリーダー/ライターの通信エリアから離すこと。[電池の寿命が短くなる。]

取扱説明書を必ずご参照ください。

4. 本品をNFCリーダー/ライターにかざす際は、複数台同時には行わないこと。[誤った通信が行われる可能性がある。]

#### 【保管方法及び有効期間等】

##### <保管方法>

暖房器具のそば、車の中、日光のあたるところ、ほこりの多いところ、湿気の多いところを避けて保管すること。

保管条件：周囲温度 -10～50℃

相対湿度 30～95%RH (ただし、結露なきこと)

周囲気圧 700～1060hPa

##### 【保管上の注意】

電池の寿命が短くなるので、必ず収納ケースに収めて保管すること。

##### <耐用期間>

耐用期間：5年、あるいは連続使用で、約10,000回 (予測検温) (自己認証による)

#### 【保守・点検に係る事項】

##### 【保守点検上の注意】

1. 本体と収納ケースを洗う際は、水で洗うこと。収納ケースに収める際は、乾いた布等で水気を拭き取ること。
2. 消毒する際は、消毒用アルコール綿で清拭して自然乾燥させること。
3. 使用可能な消毒液 (成分名) の例は以下のとおりである。  
クロルヘキシジングルコン酸塩/ベンザルコニウム塩化物/次亜塩素酸ナトリウム/グルタラル
4. 必要時間以上、消毒液につけないこと。必要な時間、濃度については消毒液の電子添文を参照すること。
5. 熱湯消毒 (50℃以上) しないこと。

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：テルモ株式会社

電話番号：0120-12-8195 テルモ・コールセンター

外国製造業者：泰尔茂医療産品 (杭州) 有限公司

Terumo Medical Products (Hangzhou) Co., Ltd.

国名：中華人民共和国

